

## 作ってみよう!

市美術展ではみやざきアートセンター内に3つのワークショップを準備しています。どれもすぐカタチにできますよ。あなたの想いを表現してみませんか?

### 我家のロゴを作ろう! 要申込

あなたの名字は? どんな家族? 色や形にすると何? オリジナルロゴを作ってみよう! いつもの名前が特別なものになりますよ!



- 日時 11月13日(土) 13:00~15:00
- 会場 3階 創作アトリエ
- 対象 小学生以上 (小学生は保護者同伴)
- 定員 親子5組
- 参加費 1,000円
- 申込開始日 10月13日(水) 9:30~



デザイナー  
井上喜司さん

### 折り紙でクリスマスツリーを作ろう!

11/6(土)~



もうすぐクリスマス! 折り紙でオリジナルのクリスマスツリーを作りませんか? 好きな色の折り紙にいろいろなパーツを付けて、特別なツリーを完成させてみましょう。完成したツリーで今年のクリスマスが楽しめますよ!

無料

### スギ玉トラッホー

11/6(土)~



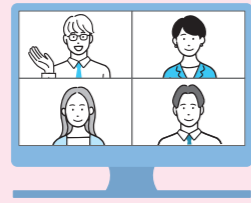
スギの木で作った丸い球型のスギ玉を準備しています。これに、来年の干支(トラ)を書いてみましょう。カッコいいトラ、かわいいトラ、しっほ…。あなたが表現したいトラは? 完成したトラは来年のあなたのお守りに!

無料

## アートの世界をのぞいてみよう!

### 動画で講評会! 11/6(土)~21(日)

6人の審査員が受賞した作品について講評しています。審査員の先生方はどういうところを見ているかなど、アートの世界をちょっとのぞいてみませんか? 期間中は何度でも無料で見ることができます。



会場では講評会の動画を見ることができます。また観賞した感想を作家さんに届ける「ビビット賞」を準備しています。

### ビビット賞 11/6(土)~14(日)

鑑賞して、あなたの心に響いた作品に投票してみませんか? 投票用紙にはあなたの感想も書くことができます。ぜひあなたのメッセージを作者へ届けてください。



作者に声を届けよう!

## 出品してみよう!

作品を作って出品してみませんか? 今年の市美術展の搬入日は10月22日(金)~24日(日)です。都合のつく方はぜひ出品してみましょ。今年の市美術展を鑑賞し、来年へ向けて制作してみるのもおすすめです。皆さまのご応募お待ちしております。

### 審査員

 熊谷 有展 崇城大学芸術学部美術学科 学科長・日展会員 白日会常任委員	 和田 七洋 鹿児島大学教育学部 准教授	 馬頭 亮太 崇城大学芸術学部 デザイン学科 助教 オンドデザインアートディレクター	 森 貴也 彫刻家	 瀬筒 寛之 鹿児島大学教育学部 講師	 紅葉谷 昌代 公益社団法人日本広告写真家 協会(APA)正会員
--	-------------------------------	--	-----------------	------------------------------	---

出品料 ● 一般……一点につき2,000円 ● 学生……一点につき1,000円

### 「第46回宮崎市美術展」 入場無料

● 開催日時: 11月6日(土)~21日(日) 10:00~18:00 ● 開催場所: みやざきアートセンター  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、本イベントの内容を変更する場合や、開催を中止する場合がございます。出品方法などの詳細はホームページをご確認ください。



市美術展  
ホームページ



## 特集2 みやざきのアートフィールド 第46回宮崎市美術展

# 日常が楽しくなる アートの魅力

11月6日から第46回宮崎市美術展(以下、市美術展)を開催します。市美術展は市内および国富町、綾町に在住、在勤または在学の方が出品できます。平面・立体・書・写真の4部門があり、出品していなくても鑑賞するだけでも楽しめる展覧会です。アートの世界が楽しくなる鑑賞方法や作品づくりの面白さを、実行委員長の幸秀樹さんに教えてもらいました。



一瞬で人生が変わる  
芸術との出会い

SNSなどのメディアの発展に伴い、日常を言葉や写真として発信しやすくなった一方で、身体が置き去りになっているように思えます。特に今は、コロナ禍で思うように出かけられず、会って話をする、商品などを手に取って購入するなど五感を使う場が少なくなっています。そうした時に、市美術展では直接実物を見ることで体感できる場になればと思っています。芸術との出会いは、退屈な日常を発見の連続に変えてくれる可能性を秘

めています。作品から「気づき」や「発見」を受け取るのに時間は関係ありません。一瞬で人生が変わることもあります。芸術に触れる5分が、自分を変える5分に、市美術展にきた1日が人生の転機になるかもしれません。

芸術を気軽に楽しめる  
鑑賞の裏技

芸術を難しいと感じる人も多いと思います。そんな方に私がおすすめする鑑賞方法は、作者名と作品タイトルを見ないで、作品を見ることです。タイトルなどの先入観にとらわれることなく、目の前にある作品に向き合い、何を感じるか、好きとか嫌いではないんです。例えば、人物画であれば、人物の名前や性格を勝手に考え、描かれている場面の過去や未来のストーリーも考えてみる。そうすることで想像力が育ち、感性が磨かれ、今まで持っていなかった視点や価値観など違う角度で物事を見ることのできるようになると思います。

出品は生きた証に!  
表現することを楽しもう



宮崎大学大学院  
専門職学位課程教授  
市美術展実行委員会  
委員長 幸秀樹さん

市美術展は今回で46回目になります。毎回出品してくださる作家さんもいます。ぜひ今後も作り続けてください。作品の履歴は自分の生きた証になります。まだ出品したことのない方は、来年は出品してみませんか? 作品づくりは「毎日何か一つを残す」ことから始めるのいいと思います。例えば、レシート一枚でもいいのです。日記をつける感覚で。残したいことを見つけたら。選択する。そうするだけでも、身の回りの物を見る目が変わり、何気ない毎日が豊かになると思います。まずは残すものを見つけて残していく。そのうちに、どういうカタチにして残すかを考えるようになります。それが立派な作品づくりになります。